

情報公開用文書（茅ヶ崎市立病院で実施する医学系研究）

西暦 2023 年 4 月 13 日 作成

<p>■研究課題名</p>	<p>5Fr一体型プラスチックステントを用いたトラブル回避のEBS</p>
<p>■研究の対象</p>	<p>ERCPによる内視鏡的胆道ステント留置で5Fr一体型プラスチックステントを用いた症例</p>
<p>■研究目的・方法</p>	<p>【背景】 内視鏡的胆道ステント留置術(EBS)では狭窄や角度によるステント留置困難や膵炎、胆管炎、胆嚢炎などの偶発症等のトラブルにしばしば遭遇する。EBSのトラブルに関しては内視鏡の術者の技量も重要ではあるが、使用するデバイスも大きな要素の1つとなる。近年5Fr一体型プラスチックステントが使用可能となり、留置が簡便であり留置後の乳頭の負担が少なく、安全性が高い可能性がある。本ステントを用いることで安全かつ確実な手技を得られるか検討した。 【方法】 症例は2022年9月から2023年1月までに5Fr一体型プラスチックステントにてEBSを施行した16例(年齢中央値82.5歳、男性7例)を対象とし、ステント選択理由、手技成功率、臨床的効果(1週間後の治療効果で評価)、早期偶発症(14日以内)、晚期偶発症(14日以降)、ステント機能不全を評価した。</p>
<p>■研究期間</p>	<p>2022年9月から2023年1月</p>
<p>■研究に用いる 試料・情報の種類</p>	<p>既に行った治療行為のため、診療記録を用いる</p>
<p>■試料・情報の 取得と保管方法</p>	<p>既存の診療記録を用いて、院内の電子カルテ内のファイルサーバーにてデータを収集し、解析を行う</p>
<p>■外部への 試料・情報の提供</p>	<p>なし</p>
<p>■研究組織</p>	<p>茅ヶ崎市立病院 消化器内科</p>

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで、電話またはFAXにてお申し出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはございません。

お問い合わせ先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先:

〒253-0042 茅ヶ崎市本村5-15-1
茅ヶ崎市立病院消化器内科 (研究責任者) 松本 悠亮
電話番号:0467-52-1111(代表)